

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年7月6日発行

— 2017.6.26～2017.7.2—第26週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第22週	第23週	第24週	第25週
水痘	2 0.40	6 0.60	3 0.60	1 0.50	2 0.67	3 0.60	1 0.50	14 0.52	32 0.54	641		○	○	○
流行性耳下腺炎	1 0.20	11 1.10	3 0.60	1 0.50				5 0.19	21 0.36	305				
百日咳						2 0.4			2 0.03	8				
感染性胃腸炎	123 24.60	53 5.30	19 3.80	21 10.50	11 3.67	23 4.60	3 1.50	280 10.37	533 9.03	8,074	◎	◎	◎	◎
手足口病	5 1	2 0.2	32 6.40		1 0.33			27 1.00	67 1.14	218	○	レ	○	○
伝染性紅斑	4 0.8							4 0.15	8 0.14	94				
突発性発しん	2 0.40	8 0.80	7 1.40	1 0.50	2 0.67	7 1.40		24 0.89	51 0.86	853	○	レ	○	○
ヘルパンギーナ	1 0.2	3 0.3	6 1.20	2 1.00				8 0.30	20 0.34	61				
インフルエンザ	1 0.13			1 0.33				3 0.07	5 0.05	27,041	○	○	レ	
咽頭結膜熱	1 0.20	20 2.00		2 1.00		5 1.00		59 2.19	87 1.47	952	◎	◎	◎	◎
流行性角結膜炎		2 0.67						3 0.50	5 0.42	65				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	94 9.40	24 4.80	2 1.00	8 2.67	44 8.80	5 2.50	66 2.44	259 4.39	4,543	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00					1 0.08	128				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	23 4.60	4 0.40	2 0.40			1 0.20		27 1.00	57 0.97	364			○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	8	5	2			1	6						
	川崎病													
	不明発疹症							4						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

仙台管内 男性3名
気仙沼管内 男性1名
栗原管内 男性1名(第24週)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O121)

仙台管内 男性1名、男児1名※
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
栗原管内 女性1名
登米管内 女児1名※
腸管出血性大腸菌感染症(O103)
登米管内 男児1名※
腸管出血性大腸菌感染症(O不明)
登米管内 男性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

塩釜管内 女性1名(第25週)
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名、女性1名
※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[感染性胃腸炎]

仙南管内で警報継続中

[手足口病]

大崎管内で警報値を超えた

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

塩釜管内で警報値を超えた

石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第23週採取分 アデノウイルス41型 1件
サボウイルス 1件
第24週採取分 アデノウイルス41型 2件
第25週採取分 アストロウイルス1型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第23週採取分 (6.5～6.11)	第24週採取分 (6.12～6.18)	第25週採取分 (6.19～6.25)			
RSウイルス	0件	1件	1件			
ヒトメタニューモウイルス	0件	0件	1件			
アデノウイルス	2件	6件	2件			
パラインフルエンザウイルス(3型)	4件	12件	8件			

* 第19週より継続してパラインフルエンザウイルス(3型)が分離され、分離数が多い状態です。

** 第20週より継続してアデノウイルスが分離されています。

4. 今週のコメント

【手足口病】

口腔粘膜、手のひら、足底などに現れる水泡性の発疹を主症状とした急性のウイルス性感染症で、主に乳幼児を中心に夏季に流行がみられます。

手足口病は、コクサッキーA16型、同A6型及びエンテロウイルス71型が主な原因であり、患者の咳、くしゃみなどの飛沫や便に排出されたウイルスで感染が広がります。

全国的に昨年同時期を上回る患者数が報告されており、県内では今週、大崎管内で警報値を超えました。今後、流行期を迎えることから、手洗い、うがいなどの日常的な予防対策を心がけてください。

【腸管出血性大腸菌】

県内では今週6名の患者報告があり、流行期に入ったと考えられます。ペロ毒素を産生する大腸菌の代表的な血清型はO157、O26ですが、他にO121やO103などの血清型による感染事例も見られます。

小児や高齢者などが感染すると重症化することもありますので、食品等の取り扱いに注意するとともに、手洗いの励行など予防対策に努めましょう。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

